

平成30年度 さいたま市立七里中学校 学校関係者評価書

さいたま市立七里中学校

学校関係者評価委員長 平田 昭 臣 印

1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数 校長 教頭 教務主任 学校地域連携コーディネーター
学校関係者評価委員 9名

(2) 実施回数 3回 (5月22日、10月27日、2月14日)

2 学校関係者評価(学校関係者評価委員の意見等)

- (1) 地域の念願だった校舎もきれいになり、生徒たちが落ち着いた学校生活を送っている様子が伺えた。学習については授業を第1であることを意識させることが大切であろう。
- (2) チャレンジスクールは中間・期末などの定期テスト対策の参加者がやはり多い。しかし、参加人数が少ないことは残念である。部活動との兼ね合いが難しく、今後も取組の工夫が必要である。
- (3) 学校評価のアンケート結果で、「集団生活に必要なルールやマナーを守ろう」の質問項目が1番高評価であったが、具体的どんなことをしているのか教えて頂きたい。
- (4) 「心と生活のアンケート」の年6回実施において、アンケートの結果に基づいた対応をどのようにしているのか伺いたい。
- (5) 最近は、小学生でもよくあるSNSが関係している繊細で複雑ないじめの対応も繊細で複雑になってきていることで、中学校では、どのように発見し、対応しているのかを教えてください。

学校関係者評価を受けた学校の対応

- (1) 全国学力学習状況調査や市の学習状況調査等の結果を踏まえ、今年度に引き続き、来年度も基礎学力の向上を目指して取組む予定である。小学校とも連携し、各教科の基礎基本事項の定着を目指していく。各教科の授業改善・指導力の向上のため、来年度も教育研究所主催等の研修にも積極的に参加させたい。また、授業や生活での約束事に一貫性を持たせるように小学校とも連携し、家庭への啓発にも取り組んでいく。
- (2) 定期テスト対策の回は、目的意識をもって熱心に学習に取り組む姿が見られたが、それ以外の日については、参加者が少ない。来年度、定期テスト対策に特化すべきか、他の方法で増やすかを検討する。大宮東高校の卒業生で教員を目指している大学生が、来年度から学習アドバイザーとして参加予定である。さらに学習に対して積極的に取組む生徒を増やしていきたい。
- (3) 学校評価アンケートの中で、「必要なルールやマナーを守る」の項目が三者とも1番高評価であった。日頃から生徒に指導するだけでなく、教職員自らも必要なルールやマナーを守ることを心がけ、実践しているからである。来年度もよりよくなるよう、生徒とともに全教職員で取り組んでいく。
- (4) アンケートは朝の落ち着いた時間に実施し、その後すぐに担任を中心に気になる生徒へは面談を実施している。日頃から生活記録ノートの内容や生徒の表情などからも面談につなげている。また、休み時間などを活用して生徒への声かけや見守りを広く行い、生徒理解に努めている。
- (5) 今年度も毎週の生徒指導委員会と教育相談特別支援教育委員会で綿密な情報交換を行い、その内容も全職員に周知できるようにしている。また、各学年で複数対応することや、教科担任や部活動顧問なども関わりながら取り組んでいる。SNSでのトラブルは、生徒からの情報で未然に防ぐことができたこともある。また、携帯安全教室や特活、道徳等の教科、学期の集会で生徒全体へ、保護者へも様々な場面で呼びかけや指導に取り組んでいる。SNSのトラブルは、家庭との連携がとても必要なので、持った時の約束事を保護者にも伝えながら、今後も取り組んでいく。生徒理解のための報告・連絡・相談・見届けの体制を充実させていく。

さいたま市立七里中学校長 榎山 正 春

印